社団法人日本ジュエリー協会

JJA JEWELLERY DESIGN AWARDS 2008

日本のジュエリーの最高峰を求めて

JJAジュエリーデザインアワード2008

JJAジュエリーデザインアワードは、独創的で先進的な、優れたジュエリーを国内・海外へ向けて発信する場です。

真に美しい作品は、国を超え、人々の心に共感と感動を呼び起こします。ジュエリーの歴史こそ浅い我が国ですが、固有の美しい文化と伝統を背景に、未来を見つめた新しいジュエリーを求め、提案をし続けていかなければなりません。

JJAジュエリーデザインアワードでは、カテゴリーを装うシチュエーションによって分類したところに特徴があります。

デザインの開発が、ものとしての美しさや完成度に留まらず、人が装うために必要な感性や機能を満足させるものであるかを問い直しています。

晴れの日や華やかな場における、豪華で格調高い装いや、ファッショナブルな装いに相応しいジュエリーを第1部門“パーティーシーン”のジュエリーとし、オフィスやフレンドリーな席での自己表現、何気ない装いのさりげないアピールなど、普段使いを楽しめるジュエリーを第2部門“カジュアルシーン”のジュエリーと位置づけました。また近年、ジュエリー周辺小物として重要な位置を占め、新しい提案が強く要望されている第3部門“クラフト＆ギフト”はギフト用のメンズ小物とともに、伝統技術を活かしたジュエリーの工芸品もテーマとしました。

新人や学生を対象とする第4部門“新人部門”では、自由な発想、新しい可能性への挑戦、意欲的な提案を若いパワーに期待しています。

JJAジュエリーデザインアワードは日本のジュエリー文化の高揚を目的に、世界に発信できる日本のジュエリーの最高峰を求め続けます。

主催　社団法人日本ジュエリー協会
後援　経済産業省
　　厚生労働省
　　東京都
協賛　社団法人日本ジュウリーデザイナー協会
　　社団法人日本真珠振興会
　　~~デビアス グループ マーケティング~~
　　プラチナ・ギルド・インターナショナル

JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2008

ご挨拶

社団法人日本ジュエリー協会
会長
今西信裕
Imanishi Nobuhiro

社団法人日本ジュエリー協会（JJA）では、日本で最も広く認知され、かつ、権威と格式のある日本最高峰のジュエリーコンテストを目指して、毎年「JJAジュエリーデザインアワード」を開催しております。

この度、2008年度「日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞」をはじめ、各入賞作品が選定され、「ジュエリーデザインアワード2008」作品集として、皆様にお届けすることが出来ますことを大変光栄に存じます。

JJA主催の「ジュエリーデザインアワード」は、日本のジュエリー産業の発展とジュエリー文化の向上のための啓蒙事業の一環です。応募者、デザイナー、製作者がジュエリーの可能性と創造性を最大限に発揮して、独創的かつ、先進的ジュエリーを国内はもとより、海外に向けて発信する機会でもあります。

消費者ニーズの多様性や商品を見る目も飛躍的に高まり、お客様の好まれるジュエリーは、デザイン的感性にすぐれた、個性的、独創的かつ特徴のあるジュエリーでないと買っていただけない時代となってまいりました。知の価値がますます尊ばれる時代です。商品を差別化するためのデザインの価値が、その重要性をますます高めているということです。その機会を提供する「ジュエリーデザインアワード」が以前にもまして関心を持たれ、応募数も多くなる意味がここにあります。日本のジュエリー産業の将来を担う、新しい感性や才能を秘めた若い・新鋭の人達や、ジュエリーデザインに携わる多くの方々にご参加いただき、皆様のユニークな作品の出品を大いに期待いたしておるところです。

今回もおかげさまで、いずれも優劣つけがたい、大変素晴らしい作品が数多く寄せられました。私共が期待し、目指している日本で最高峰のジュエリーコンテストの理念が、皆様応募者の作品に、回を重ねるごとに着実に表われてきたと感じられ大変頼もしく、心強く感じております。

その中より、厳正な審査により入賞作品が選定されました。

この作品集は全応募205点の作品から最優秀賞の「日本ジュエリー大賞・経済産業大臣賞」を初め、各部門賞に輝いた受賞作品を、ご紹介しております。皆様には、デザインの美しさや、加工技術の巧みさだけではなく、その着想や独創性を、また今のファッションシーンをイメージしながら、ご覧いただければ幸いです。

「ジュエリーデザインアワード」は今後も、JJAの活動の一つの大きな目玉として、日本ジュエリーの素晴らしさを世界に発信する場として、今後ますます大きく発展していくものと確信いたしております。

ジュエリーを愛する皆様を初め、関係省庁、関係団体、報道関係の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

審査員講評

東京芸術大学
工芸科彫金教授
飯野一朗
Iino Ichiro

今回のコンテストでは第4部門「新人部門」の応募要領が前回までとは異なりました。今までのフリーマテリアルから、地金、宝石を主にした作品を公募した点です。これにはJJAという協会の性格上、今後を担う人達に貴金属、宝石への理解を深めてもらい世界発信に向けての大事な基盤を作るという目的があります。

全体の応募点数としては例年よりやや少なくなりましたが、意欲ある作品が多く見られ興味深く審査にのぞみました。

特に第1部門のパーティーシーンでは明快な主旨のもと、確かな技術に裏付けされたレベルの高い作品が数多く出品されました。

大賞となった「幸せの実り」はローマ神話に出てくる豊作の女神ケレスを連想させ、大胆な表現で好感の持てる作品でした。

第2部門のカジュアルシーンですがカジュアルという言葉の設定をもう少し絞ったらという意見が出ていました。

第3部門も同様な意見が多く、出品者も解釈がまちまちでしたので楽しい部門になるよう努力したいと思います。

第4部門では初めての募集にも関わらず創意工夫に富んだ93作品が集まり、今後の展開を期待させる部門になりました。今後ジュエリーデザインの更なる飛躍を目指し期待したいと思っております。

卓越技能者
（現代の名工）
石井比功次
Ishii Hikoji

今回は以前とは逆の、審査する立場に立って作品と接することになりました。それぞれの作品には製作者からの熱い思いが強く感じられ、一点一点真剣に採点させてもらいました。世界を見据えたJJAデザインアワードにふさわしい独創性に溢れた作品選び、それと私の場合は特に専門の立場から技術面も考えながら選びました。デザイン、素材等を引き立たせる表現技術とともに、これは当たり前のことと思いますが、最近は細かい仕上げや打刻など基本的な加工技術にも高い完成度が求められるようになってきています。

第一部門のパーティシーンは充実しており特にジュエリー大賞を意識した力作がいくつも見られました。大賞受賞作品は取り外してブローチとしても使用出来る素晴らしい作品ですが、やや懲り過ぎの感がありました。一部二部とも技術的にも完成度の高い物が多く、技術賞選定ポイントとしては細やかな気使いと技術センスの良さです。クラフト＆ギフト部門はいつも出品点数が少なく寂しい感じです。新人部門は実作品のみとしたことで内容的にプロフェッショナルゾーンの予備軍という感じとなってきましたが、技術的にはレベルが高く将来に向けて大いに期待します。

サンケイリビング新聞社
取締役編集統括兼コンテンツ開発担当
植田奈保子
Ueda Naoko

今年は特に第一部門「パーティーシーン」での作品がいずれ劣らぬ力作揃いでした。素人目にも完成度の高いジュエリーが多く、選ぶのに大変苦労しました。

素人の視点は、やはりジュエリーは身に着けて全体で美しく見えるかどうか、動くのに邪魔にならないか、それでいて今までにない個性的な印象を残せるかどうか、に尽きます。パーティーシーンなら小ぶりなネックレスとリングのセットだけよりは、ジュエリーそのものに主張のある華やかなものがいいと思います。その意味で若干物足りない気もしましたが、入賞作品はいずれも印象的だったのが良かったのではないでしょうか。

ギフトというテーマの第三部門は審査も非常に難しく票が割れました。ジュエリーデザインのコンテストですからギフトでも少し夢のあるものがいいなと感じた次第です。

審査員講評

日本真珠小売店協会
会長
木下　章
Kinoshita Akira

宝飾業界は現在、特定商取引法の改正、個品割賦販売法の改正などの消費者保護を目的とした法律の見直しやサブプライム問題からの株の下落、そして原油に代表される資源の高騰に起因する物価の上昇等、日本国内における宝飾品の販売環境はますます難しくなってきております。このような状況の中では、本当に消費者の購入意欲をかきたたせる商品の開発をもっと進めなければいけないと思われます。その中で日本ジュエリー協会が行っているこのジュエリーコンテストを行う意義はますます重要になってきているとおもわれます。このデザインコンテストが宝飾業界への新しいトレンドを発信する場であり、そしてアイデアを持った有望な新人デザイナーを発掘し、育てていくためのインキュベーターとして機能すればさらに良いのではないかと感じます。今回のデザインコンテストにおいても新しい作品が多数出品され、その中には今後のジュエリーマーケットに影響を与えるような作品も見かけられました。多くのデザイナーの方々がこれからも積極的に応募されこのコンテストがさらに発展していくこと期待しております。

社団法人日本ジュウリーデザイナー協会
副会長
菅沼知行
Suganuma Tomoyuki

2008年の（社）日本ジュウリーデザイナー協会会長賞は、シンプルなペンダントになりました。円の中に透明と赤の2色の石をパヴェセッティングした鳥が浮いています。

ふっくらとした鳥のフォルムもさりながら、一番のポイントは中心の空間ではないでしょうか、円という完璧な形に他の形を組み合わせるのは大変難しい仕事です。この点このペンダントは空間の分量と形状に卓越したデザインセンスを感じます。小粒でもぴりっとした完成度の高い作品です。

全体を通しては、別部門なら選ばれたと思われる作品が複数あり、応募者がどの部門に出そうか迷ったのではないかと残念に感じました。

デザイナーが同業者のデザインを審査する、ということは非常に緊張し責任を感じます。今後もご一緒に精進していきたいと思います。

ジュエリーコーディネーター
1級有資格者
橋本雅彦
Hashimoto Masahiko

今回初めて審査員を務めさせていただきましたが、応募作品はいずれも力作揃いで審査には大変苦労しました。私の場合、お客様と直接接するジュエリーコーディネーターとして、お客様にどれだけ深い感動を与えることができるかという視点で審査しました。

第1部門はデザイン性、繊細な技術レベルともに素晴らしい作品ばかりでした。特に大賞に輝いた「幸せの実り」には卓越した表現力とモチーフである稲穂に自然のやすらぎを強く感じました。

第2部門には第1部門と見間違うような大作も含まれ、出品作品は実に多様でした。個人的には日常に身に付けたいジュエリーとしてお客様に受け入れられるかという視点も取り入れて選考しました。優秀賞に選ばれたルビーのペンダントには、こなれたデザインの中に秘められたロマンチックな作者の想いが光っていました。

第3部門では実用性が高い作品が多かった反面、作者のあるいは贈り手の想いが伝わる作品が少なかったように思います。

第4部門では親しみを覚える作品が多かったが、全体としてはやや迫力に欠けていたと思います。新人らしくもっと自由に大胆な発想で挑戦して欲しかった。

全体を通してですが、作者のコメントが付いていない作品が見受けられ残念でした。何か一言でもあったほうが見ている側に作り手の作品に込めた想いが伝わるものです。

審査委員一覧 審査委員長以下50音順

審査委員長	飯野　一朗	東京芸術大学　工芸科彫金教授
審査委員	青島みどり	山梨県立宝石美術専門学校　学校長
	石井比功次	卓越技能者（現代の名工）
	井上　善展	社団法人日本ジュエリー協会　副会長
	植田奈保子	サンケイリビング新聞社　取締役編集統括兼コンテンツ開発担当
	大場よう子	日本宝飾クラフト学院　学院長
	小川　敦子	日之出出版株式会社　グラン・マガザン ジュエリー　編集長
	川久保美紀	毎日新聞社生活家庭部 記者
	影山　公章	学校法人水野学園　ヒコ・みづのジュエリーカレッジ　学部長
	木下　　章	日本真珠小売店協会　会長
	菅沼　知行	社団法人日本ジュウリーデザイナー協会　副会長
	永井　純子	社団法人日本ジュウリーデザイナー協会　専務理事
	西山　志郎	文化服装学院　専任講師
	橋本　雅彦	ジュエリーコーディネーター1級有資格者
	門馬　宏子	学校法人杉野学園　ドレスメーカー学院　教授
特別賞審査員	木下　　章	社団法人日本眞珠振興会　理事
特別賞審査員	菅沼　知行	社団法人日本ジュウリーデザイナー協会　副会長
特別賞審査員	平良　美樹	デビアス グループ マーケティング　ダイヤモンドインフォメーションセンター　ディレクター
特別賞審査員	武者　智子	プラチナ・ギルド・インターナショナル　トレード・コミュニケーション課　課長

応募作品数・点数

プロフェッショナルゾーン		
第1部門　パーティーシーン	32作品	73点
第2部門　カジュアルシーン	61作品	76点
第3部門　クラフト&ギフト	19作品	36点
新人部門		
第4部門　新人部門	93作品	144点
	計205作品	329点
入選作品	61作品	109点

日本ジュエリー大賞
経済産業大臣賞

加藤貴子 デザイナー
Kato Takako

有限会社 清美堂真珠 製作者
Jewelry & Art Ki-LaLa 応募者

作品名「幸せの実り」
秋を迎えた稲穂に、幸運の象徴であるネズミが駆け回る姿を描き出しました。
豊かな実りの幸せとネズミがもたらす幸せが重なって、身につける人も幸せになるようにという想いで製作しました。
ネックレスとブローチは分けて着用することが出来、皆で幸せを分かち合うことも出来るようにしました。

1948　名古屋生まれ
1968　名古屋女子大学短期大学部服飾科卒業
1969　田中千代服装学園修了
1971　東京フラワーアカデミー卒業
1972　フラワーショップ貴子創立
1973～東京フラワーアカデミー全国コンテスト1位
　　中日大賞　金賞
　　青山リボン大賞　色彩賞　等
1984　高級陶器店「花車」店長
1994　Jewelry & Art Ki-LaLa 創立
2007　タヒチアンパールトロフィージャパン2007
　　ネックレス部門2位

K18(YG・WG)・Pt900・K14WG/D/ネックレス・ブローチ・ピアスセット

厚生労働大臣賞

株式会社 桑山 製作者/応募者
Kuwayama Corporation

デザインプロジェクト代表 **光山有美** デザイナー

フルーツタルトやベリーマフィン、チェリーケーキ、パリ・ブレスト…。そんなスウィーツ達を目にした時の気持ちを隠し味に、色彩豊かな宝石を調理したら、思わず食べてしまいたくなるようなジュエリーが出来上がりました。

2004　JJAジュエリーデザインアワード2004
　　東京都知事賞
2005　JJAジュエリーデザインアワード2005
　　経済産業大臣賞
2005　JJAジュエリーデザインアワード2005
　　東京都知事賞
2006　JJAジュエリーデザインアワード2006
　　プラチナ・ギルド・インターナショナル賞
2006　JJAジュエリーデザインアワード2006
　　東京都知事賞
2007　JJAジュエリーデザインアワード2007
　　経済産業大臣賞
2007　JJAジュエリーデザインアワード2007
　　日本ジュエリー協会会長賞

K18(YG・WG・PG)/D/R・S/ネックレス・ピアス＊イヤリングセット

東京都知事賞

中尾美穂 デザイナー
Nakao Miho

株式会社 ナガホリ 製作者/応募者

テーマは「The Garden Of Eden」
大輪の花をモチーフに自然の神々しい美しさを表現致しました。地球がこれからも活き活きとした自然にあふれていますようにと願いを込めています。
ネックレス下はペンダント兼ブローチとして花と蕾のリングは取り外してお使い頂けます。

1962　山梨県生まれ
1984　武蔵大学人文学部卒業
1987　赤坂宝石彫金学院卒業
2005　JJAジュエリーデザインアワード佳作
2005　タヒチアンパールトロフィージャパン
　　ブレスレット部門2位
2006　第31回インターナショナル
　　パールデザインコンテスト入選
2007　タヒチアンパールトロフィージャパン
　　リング部門1位

K18WG/D/ネックレス＊ブローチ・リング・ピアスセット

日本ジュエリー協会会長賞
技術賞

小笠原玲子 デザイナー/応募者
Ogasawara Reiko

斉川嘉世子 製作者

テーマ　愛の絆
— les liens d'amour —
運命に導かれるように、かけがえのない人に出逢えた喜び。愛の絆に支えられ生かされていることをいつまでも忘れないで。
そんな願いを込めて、ティアラとブートニアを製作致しました。

1953　神奈川県生まれ
1974　フェリス女学院短期大学卒業
1975　山脇美術学院卒業
2006　フレッシュマンジュエリー・デザイン・コンテスト2006デザイン画入選
2008　フレッシュマンジュエリー・デザイン・コンテスト2008入選

K18PG/水晶/D/ティアラ・ブートニアセット

第1部門

パーティーシーン

優秀賞
デビアス グループ マーケティング賞

K18(YG・WG)/D/ネックレス・ピアスセット

金子　綾 デザイナー
Kaneko Aya

岩崎裕司 製作者
株式会社 今与 応募者

流れ落ちる滝の飛沫をダイヤモンドとWGで表現しました。
今秋に発表予定の新ブランドEmoのラグジュアリーシリーズです。
Emo（emotional ―感情― × modern ―現代女性―の略）
感受性豊かな女性の心に響くジュエリーブランドを目指しています。

1996　京都嵯峨芸術大学卒業
2001　日本宝飾クラフト学院卒業
2001　フレッシュマンジュエリーデザインコンテスト優秀賞
2001　ベリテデザインコンテスト入選

優秀賞

K18(WG・YG・PG)/D/R/ネックレス・ピアス＊イヤリングセット

株式会社 桑山
Kuwayama Corporation

着物の文様の一つの「花丸文」からインスピレーションを得てデザインしました。「花丸文」の中でも古来より徳のある花とされる「蘭」「菊」「竹」「梅」をモチーフとして取り上げ、凛とした和の華やかさを演出しました。

2004　JJAジュエリーデザインアワード2004 東京都知事賞
2005　JJAジュエリーデザインアワード2005 経済産業大臣賞
2005　JJAジュエリーデザインアワード2005 東京都知事賞
2006　JJAジュエリーデザインアワード2006 プラチナ・ギルド・インターナショナル賞
2006　JJAジュエリーデザインアワード2006 東京都知事賞
2007　JJAジュエリーデザインアワード2007 経済産業大臣賞
2007　JJAジュエリーデザインアワード2007 日本ジュエリー協会会長賞

佳作

K18(WG・PG)/S/D・アメシスト/ネックレス・イヤリングセット

小林由紀 デザイナー
Kobayashi Yuki

篠原貿易 株式会社 製作者/応募者

デザインコンセプトは、“SWEET”。砂糖菓子のように柔らかい色合いのカラーサファイアを豪華に組み合わせてみました。“甘い”の他に“心地良い”とか“かわいらしい”も意味する“SWEET”身に付けても“心地良いプレステージの高いジュエリー”を作りました。

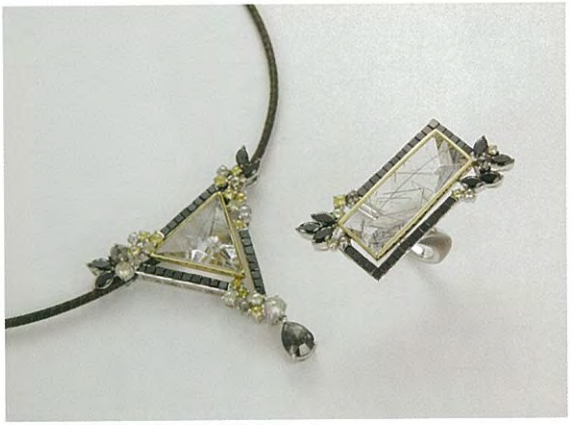
K18(YG・WG)/D・S/マルチ/ネックレス・イヤリングセット

日下志保 デザイナー
Kusaka Shiho

吉田友智 製作者
株式会社 ジュエルはま 応募者

清楚なツユクサの花を朝だけでなく、昼も夜も咲き続ける様、ジュエリーとして形にしました。ツユクサの色合いを忠実に表現する為に、樹脂加工という新しい手法を取り入れました。
今回の受賞に感謝すると共に、より一層のデザイン・技術力の向上に努めてまいります。

入選



K18/水晶/D/リング・ペンダントセット

中島彩乃 デザイナー
Nakajima Ayano

株式会社 イマックビーシー 製作者
株式会社 彩 応募者

K18(WG・YG)/トパーズ/D・水晶/ネックレス＊ブローチ・イヤリングセット

田口広明 デザイナー/製作者
Taguchi Hiroaki

株式会社 ジュエリーミウラ 応募者

K18(YG・WG)/D/(エナメル)/ペンダント＊ブローチ・ネックレス・イヤリングセット

清水千穂 デザイナー
Shimizu Chiho

ツカキ 株式会社 製作者/応募者

K18・赤銅/D/アコヤ真珠/ペンダント・リングセット

市川和彦
Ichikawa Kazuhiko

K18・Pt900・Pt850/D/イヤリング・ブレスレットセット

河野小百合 デザイナー/製作者
Kawano Sayuri

有限会社 洗谷貴宝 応募者

K18(YG・WG)/D/リング・ペンダントセット

中島彩乃 デザイナー
Nakajima Ayano

株式会社 イマックビーシー 製作者
株式会社 彩 応募者

入選

K18WG/水晶・シトリン/D・パール/ペンダント＊ブローチ・リング
セット

川崎達彦 デザイナー
Kawasaki Tatsuhiko

株式会社 イナホ 製作者
株式会社 パルサーエンタープライズ 応募者

Pt900・K18/ブラックオパール・トルマリン/R・S・D/ブローチ・リング
セット

洗谷金也 デザイナー/製作者
Araiya Kinya

有限会社 洗谷貴宝 応募者

Pt900・K18(YG・PG・WG)/D/マルチ/(エナメル)/
ボディジュエリー・イヤリング・アームレットセット

横村信浩 デザイナー
Yokomura Nobuhiro

横村信浩／横村静市 製作者
有限会社 アイデアル ダイヤモンド 応募者

第2部門

カジュアルシーン

優秀賞
日本ジュウリーデザイナー協会会長賞

K18WG/D/R/ペンダント

島村弘美 デザイナー/応募者
Shimamura Hiromi

株式会社 KARAT 製作者

ルビーの面（小）は自身を愛する心（大）は大切な人を愛する心、ダイヤの面は全ての人を愛する心を表し、外枠はコインを表して、富貴と幸福への願いを込めてデザインしました。ハートのアイテムに戸惑いを感じる時は、ハートの下側にチェーンを通す事で、違った表情を味わえるようにしました。幅広い年齢層に着けて頂けると思います。

1959　広島生まれ
1981　広島女学院大学卒業
2008　フレッシュマン・ジュエリーデザインコンテスト2008実作品入選

優秀賞

K18WG/D/リング・ピアスセット

小出あゆ子 デザイナー
Koide Ayuko

Linewood 製作者
ayuKoide 応募者

テーマは「エコロジカル（限られた資源に優しい）、エコノミカル（お財布に優しい）、yetスタイリッシュ」
見る角度によって石が相対する地金に反射します。それによってあたかもダイヤがぎっしり入っている様に見えるサプライジングな仕かけです。

1964　横浜生まれ
1987　上智大学卒業
2005　JJAジュエリーデザインアワード2005入選
2005　タヒチアンパール・トロフィージャパンブレスレット部門1位

佳作
日本真珠振興会会長賞
技術賞

K18WG・絹紐/アコヤ真珠/D/ネックレス・ブローチセット

中山恵美 デザイナー
Nakayama Emi

株式会社 ナガホリ 製作者/応募者

テーマ「結び」
結ぶという原始の時代から行われている動作から作り出され、伝統美の1つとして受け継がれてきた「結び」。結びの中にある強い絆の意味と、一本の紐を結んで作られた美しさをジュエリーで表現しました。
作品の一部である正絹で編んだ組み紐の美しさも伝えられたらと思います。

佳作

K18WG/D/(漆塗り)/ネックレス

社本深雪 デザイナー
Shamoto Miyuki

野口達彦 製作者
株式会社 伊東商店 応募者

ゆったりと舞い落ちる柔らかい羽毛。その軽やかな様子を胸元に留めるようにデザインしました。制作ではイメージを細部まで理解した作りを実現してもらうことができました。

入選
プラチナギルドインターナショナル賞

Pt900/D/リング

岩瀬イゴル デザイナー/製作者
Iwase Igoru

TAMARA 応募者

限りあるものが、精一杯生きる力
尊い自然への思いを、地球の貴重な贈物プラチナとダイヤモンドを使い表現しました。

入選

K18/シトリン/D/ペンダント

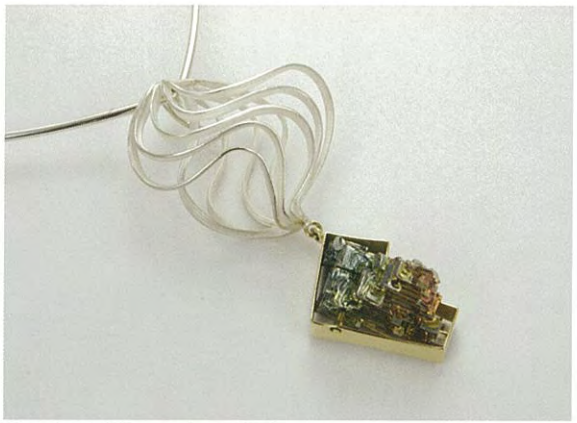
山崎藍子 デザイナー
Yamazaki Aiko

蒔苗輝久 製作者
有限会社 ルネッサンス・ジェム 応募者

Pt900・K18WG/クロチョウ真珠/D/ネックレス

高嶋克幸 デザイナー
Takashima Katsuyuki

京宝飾 製作者
株式会社 みつわ 応募者



K18・Ag950/ビスマス/ペンダント

内田良子
Uchida Yoshiko

Pt900・K18/S/D/ペンダント

石井庸之
Ishii Nobuyuki

K18・K14/水晶・トパーズ/ネックレス

田中弓美 デザイナー
Tanaka Yumi

中谷森夫 製作者
株式会社 光彩工芸 応募者

K18WG/D/ペンダント

川崎　薫 デザイナー/製作者
Kawasaki Kaoru

株式会社 伊東商店 応募者

Pt900・赤銅/D/リング

中村充男 デザイナー
Nakamura Mitsuo

山本竜也 製作者
株式会社 伊東商店 応募者

K18/D/リング

服部無我 デザイナー/製作者
Hattori Muga

有限会社 真光 応募者

K18WG/D/リング

深町幸代 デザイナー/応募者
Fukamachi Yukiyo

小林義弘 製作者

K18RDP/D/リング

田中弓美 デザイナー
Tanaka Yumi

中谷森夫 製作者
株式会社 光彩工芸 応募者

K18(YG・WG)/シロチョウ真珠/D/リング

中村孝則 デザイナー/製作者
Nakamura Takanori

中村宝飾工芸 応募者

K18WG/トルマリン/D/リング

中島彩乃 デザイナー
Nakajima Ayano

株式会社 イマックビーシー 製作者
株式会社 彩 応募者

入選

K18(YG・WG)/D/(七宝)/リング

簑和田幸恵 デザイナー
Minowada Yukie

簑和田元 製作者
ミノワダジュエリークラフト 応募者

Ag950・赤銅/ネックレス

切中優希子
Kirunaka Yukiko

Ag950/リングセット

宮越喜一
Miyagoshi Kiichi

K10・Ag925・赤銅/D/S/ブローチ

田中清月 デザイナー/製作者
Tanaka Satsuki

アトリエT2 応募者

K18(YG・WG)/ホワイトオパール/D・S・R・E/ブローチ

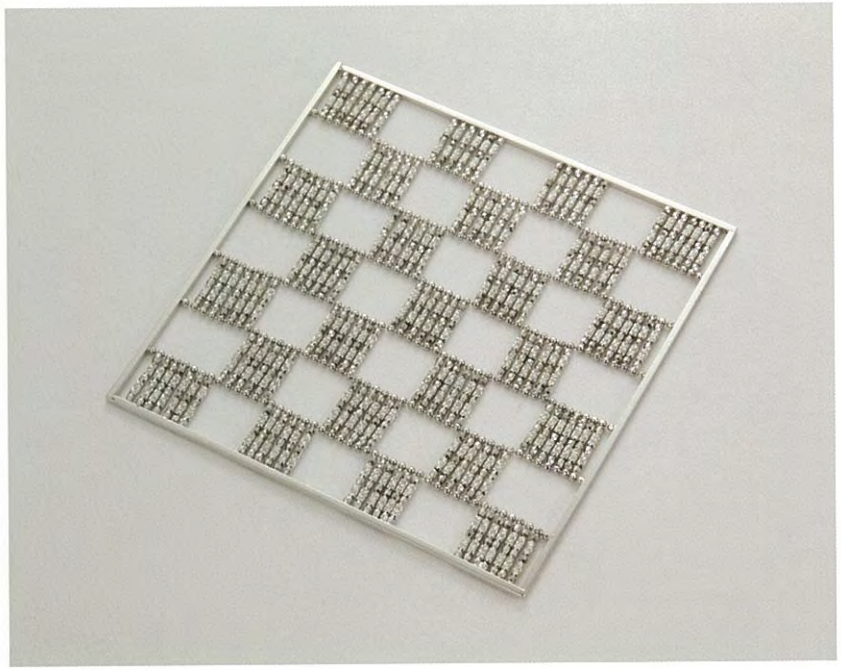
菅原節子 デザイナー/製作者
Sugawara Setsuko

Jewellery Setsuko SUGAWARA 応募者

第3部門

クラフト＆ギフト

優秀賞



K18WG/コースター

山口　修 デザイナー/製作者
Yamaguchi Osamu

株式会社 オーロラ 応募者

貴石を使用せずに地金の素材のみでどれだけジュエリーと言うジャンルの中で表現できるかをトライしてキラキラとしたコースターを作ってみました。

1971　東京生まれ
1992　東京デザイン学院卒業
1998　株式会社サン宝飾入社

佳作
技術賞

K18(YG・WG)/S/D/名刺入れ

坂東幸香 デザイナー
Bando Sachiko

坂巻章雄 製作者
有限会社 優 応募者

イギリス在住の友へ日本を贈る。というテーマで作成。
大自然、小さき人間、遠くより見守る富士
(北斎、神奈川沖浪裏の図を立体模写した。)

箱の部分は薄い板なので、ロー付、地金の磨き、歪まぬ様仕上げに時間を掛けた。(製作者)

入選

Ag925・K18/カフリンクセット

伊藤達美
Ito Satomi

K18/D/ハンコ

佐藤善久 デザイナー
Sato Yoshihisa

北原信行 製作者
株式会社 ビジュー・サトウ 応募者

Ag1000・アクリル/(樹脂エナメル)/フリスクケースセット

市村幹子 デザイナー/応募者
Ichimura Motoko

市村幹子／栗田彫刻 製作者

Ag925/アメシスト/ペンダント・カフリンク・タイドメセット

田中恵子
Tanaka Keiko

K18/D/ブルートパーズ/万華鏡

切敷　章 デザイナー
Kirishiki Akira

田中　薫 製作者
工房 楽花星 応募者

第4部門

新人部門

新人大賞

越野恵介
Koshino Keisuke

この作品は、人それぞれが願う夢や思いをのせて飛び上がるというイメージで作りました。リングに息を吹きかけると心地いい音を立てながらプロペラが回る仕組みになっています。この度は、大変輝かしい賞に選ばれうれしく思っています。今後の励みになると同時に支えて下さった方々にも心より感謝申し上げます。

1986　愛知生まれ
2007　日本宝飾クラフト学院入学

Ag950/CZ/リング

新人優秀賞

Ag925・Ag950/CZ/ネックレス

中島絵美
Nakashima Emi

種や植物の持つパワーに魅力を感じます。
この作品は松ぼっくりからイメージしました。
くるくると回転するようにし、翼をつけたタネが、外に向かって弾んでいくような感じです。

1973　愛知県生まれ
1996　名古屋造形芸術短期大学インテリアデザイン科卒業
2007　日本宝飾クラフト学院総合学科卒業
2008　日本ジュエリーアート展入選

Ag950・K24・K18/ペンダント・ブローチ・ピアス・リングセット

穂坂雅喜
Hosaka Masaki

この作品は、大好きな金属と触れ合いながら生まれてきた形や質感、そして色味などを生かしてデザインし、制作したものです。これからも、この賞を励みに制作していきたいと思います。
最後にお世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

1976　山梨県生まれ
2000　第25回日本彫金会展　東京都知事賞
2000　第53回山梨県芸術祭　優秀賞
2000　東京学芸大学卒業
2005　第27回日本新工芸展上野の森美術館奨励賞
2007　安宅賞
2008　東京芸術大学修了

Pt900・K18/D/R・S・マルチ/リング

小野田文博
Onoda Fumihiro

今、何かと話題となっている「地球」を中心とした太陽系、広大な宇宙を小さなリングに表現しました。
月を回転させると地球も自転します。宇宙はK18ブラックゴールドで地球はプラチナとゴールドの象眼で製作しました。

1974　神奈川生まれ
1995　町田デザイン専門学校
　　製図・トレース建築科卒業

K18(YG・WG)/水晶/D/リングセット

藤森　隆 デザイナー/応募者
Fujimori Takashi

石井貴志 製作者

タイトル「私の中心（ecco qua)」
天然の針状結晶が入っているクオーツが中指と人差し指の間に来るように、人差し指に見につけていただくインデックスリングです。

1976　東京生まれ
2000　国際基督教大学教養学部卒
2000～2002　システムコンサルティング会社勤務
2003～2004　イタリア・フィレンツェ滞在
　　Alchimia（コンテンポラリージュエリー学校）
　　Perseo（フィレンツェ伝統彫金学校）
2005～　ジュエリー作家として活動
　　有限会社ボッテガフジモリ代表取締役
　　オーダーメイドジュエリー ADAM
　　アダン（東京・三軒茶屋）の店長

入選

Ag950/CZ/ペンダント

小川拓磨
Ogawa Takuma

Ag925/ペンダント

菅原朱美
Sugawara Akemi

Ag925/ペンダントセット

山﨑良明
Yamazaki Yoshiaki

Ag925/CZ/水晶/(エナメル)/ピアス・ペンダント＊ジュエリーボックスセット

井上真里亜
Inoue Maria

BS/(漆塗り)/かんざしセット

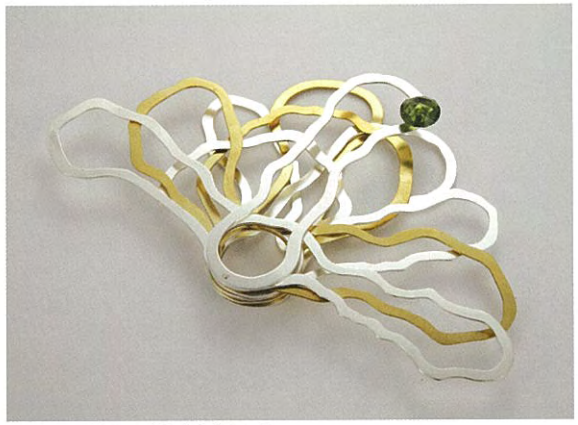
松田明徳
Matsuda Akinori

銅・黒味銅・赤銅・Ag950/リングセット

松岡　功
Matsuoka Isao

Ag950/リング

村井美紘
Murai Mihiro



Ag950・BS/アルピナイト/リング

加藤宏隆
Kato Hirotaka

銅・SUS/(金めっき)/ブローチセット

月舘亜希子
Tukidate Akiko

Ag925/トルマリン/リング

千田俊介
Chida Shunsuke

社団法人　日本ジュエリー協会
ジュエリープロモーション部会

担当副会長	中川　千秋				
部　会　長	山岡伸一郎				
委　　員	雨宮　和也	荒井　純二	梶　　光夫	梶田　行雄	亀山　　実
	川澄　一夫	菅田　　茂	後藤　芳生	近藤千佳之	坂巻　章雄
	貞松　隆弥	丹羽　卓也	湯本　昭人	横山　　裕	
アドバイザー	氏家　和彦	川崎　　猛	田中　英夫	松崎　憲子	

編　集　　社団法人 日本ジュエリー協会　ジュエリープロモーション部会
撮　影　　髙木写真事務所

発行日　　2008年8月26日
発　行　　社団法人　日本ジュエリー協会
〒110-8626 東京都台東区東上野2-23-25
TEL(03)3835-8567　FAX(03)3839-6599
http://www.jja.ne.jp　E-mail: ja@jja.ne.jp

禁無断転載複写